

# 知の創造

ものづくり大学発

▷64◁

ベトナム中部の古都フエの伝統木造建築を研究している。フエはベトナム最期の王朝である阮朝が京師を置いたことで知られ、往時の王宮建築群はユネスコ世界文化遺産に登録されています。毎夏、研究室の学生とともに現地を訪れ、フエ大学の学生たちも交えながら、失われつつある伝統木造建築を実測して図面化する作業を継続していま

統一したベトナムですが、実は近世以前のベトナム史において現在の版図が越族の領土として統一されていた時期はそれほど長くはありません。15世紀頃までの越族はあ

を設計するのにも特徴です。北朝にも関わらず、北部の越族部の越族の建築文化は直角定規で屋根勾配を設計して、この「登り梁ケオ」の建築文化がどこから来たのか。歴史的背景はいまだに不明瞭ですが、広南阮氏は在地民文化の受容にかなり寛容であったとも言われ、あるいはチャム族の木造建築文化から受容した文化とも考えられます。越族にとってチャム族は宿敵であり、平定すべき相手であったはずですが、仮にその建築文化が越族の王家の宮殿建築へ継承されたとするなら、

林英昭 建設学科 准教授

## 越族とチャム族と建築

はやし・ひであき 1979年生まれ。早稲田大学大学院後期博士課程修了。博士(工学)。早稲田大学理工学術院助手、同客員講師を経て、2010年よりものづくり大学。専門は東洋建築史。



独自の建築文化だと言え、阮朝は越族が樹立した王朝へ継承されたとするなら、動を続けています。